

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

「コンサルティング&デジタル取引強化拠点」の設置について ～ 阪神エリアの5か店を現金レス取引推進の“キャッシュレス支店”に～

京都銀行(頭取 土井 伸宏)は、営業店を「1人でも多く、1分でも長く、お客さまとお話するための拠点へ」変え、コンサルティング機能の充実を実現するため、営業店の在り方も含めた抜本的な改革による生産性革新に取り組んでおります。

昨年11月には、コンサルティング機能の強化とデジタル技術を活用した金融サービスの推進を図るべく、当行初の“次世代型店舗”として長浜支店をグランドオープンしました。今般、“次世代型店舗”による営業体制をさらに発展させた「コンサルティング&デジタル取引強化拠点」を設け、長浜支店および阪神エリアの5か店を指定しますのでお知らせいたします。

「コンサルティング&デジタル取引強化拠点」は、予約制を採用し、所定の研修を修了した行員による、より質の高いコンサルティングを提供する店舗です。また、阪神エリアの5か店を、窓口で現金の取り扱いを行わない「キャッシュレス支店」にするとともに、本部組織内に「デジタル取引推進チーム」を新設し、現金を中心とした取引からデジタルを軸にした取引への転換を進めてまいります。

当行では、今後も、“お客さまの期待に応える銀行であり続ける”ため、広域店舗網を生かした高品質な金融サービスの提供に取り組んでまいります。

記

1. 「コンサルティング&デジタル取引強化拠点」の概要

“コンサルティング”(お客さまの課題解決)と“デジタル取引”(利便性の高い新技術を活用した金融サービスの推進)を業務運営の核とした拠点を設置いたします。

(1) コンサルティング機能の強化

所定の研修を修了した行員が、京都銀行グループの機能をフル活用し、より専門性の高いコンサルティングを行います。店舗は予約制を採用し、相談スペースも拡充します。

また、本部専門スタッフへの相談等にはタブレット端末のテレビ電話機能を活用するなど、いつでもどこでもお客さまの状況に合わせ、的確なコンサルティングを行ってまいります。

(2) デジタル化・キャッシュレス化のさらなる展開

京銀インターネットEBサービスや京銀アプリ、テレビ電話等のデジタル技術を活用し、お客さまに金融サービスをより簡単・便利に利用いただけるよう推進します。

阪神エリアの5か店は、窓口で現金の取り扱いを行わない「キャッシュレス支店」とし、本部組織内には、「デジタル取引推進チーム」を新設します。

2. 指定する営業店(計6か店)

新大阪支店、難波支店、城東支店、西宮支店、大日支店、長浜支店

※今後、順次拡大してまいります。下線の店舗は「キャッシュレス支店」といたします。

3. 設置日

2019年7月16日(火)

以上